

6



山ノ下神明宮と木遣り保存継承

寛永10年(1633年)加賀大聖寺より山ノ下新田の開拓に入
 った村民が創建したと伝えられ、川欠で数度移転し明治12
 年(1879)神明町3に再建されましたが、土地区画整理事業
 によって昭和12年(1937)現在地に遷宮されました。御祭神
 は豊受姫命で衣食住を始め産業の守り神です。拝殿細部
 に見ごとな装飾が見られ、境内末社に古峰神社と金毘羅神社
 が鎮座されております。

山の下木遣りは天災がないことを願い、又豊作豊漁を祈っ
 て春と秋の神明宮の祭礼に奉納されます。保護継承活動が
 評価され新潟県文化財保護連盟より表彰されました。